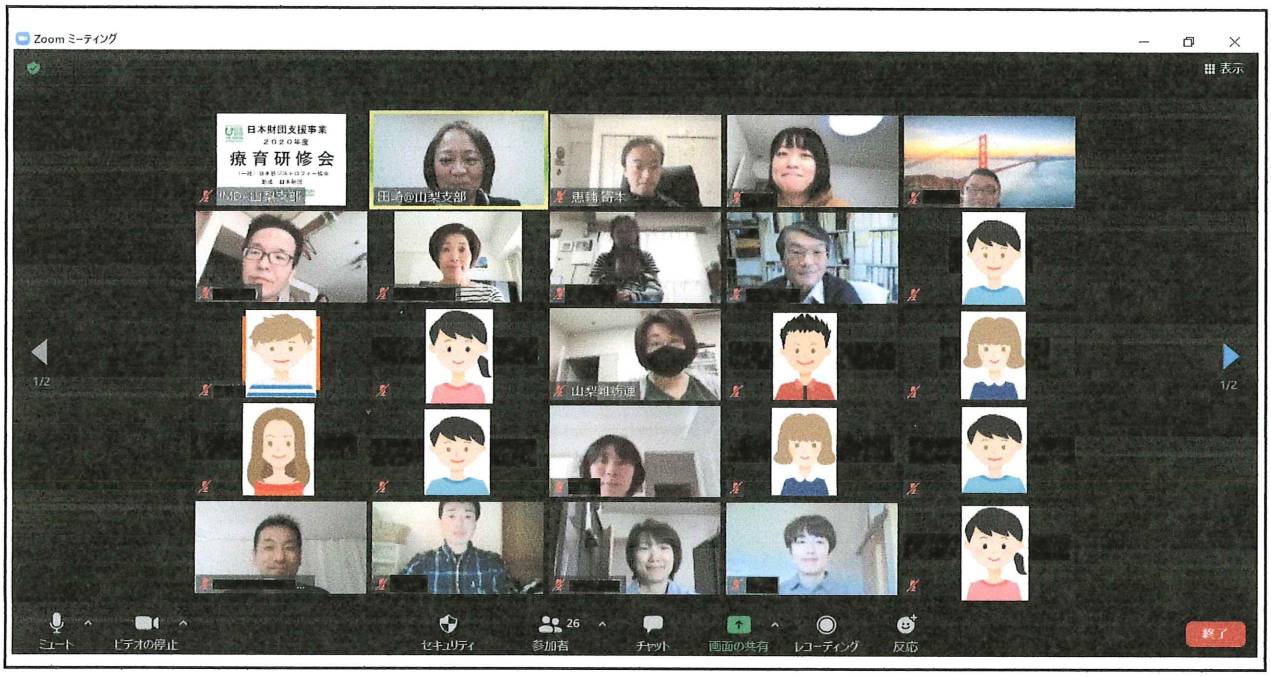
日本財団支援事業

療育研修会実施状況

山梨　支部　　参加数　28 名

実施場所　オンライン&
山梨県難病相談支援センター



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

・リハビリの重要性を改めて理解することができ、とても有意義だった。

・具体的な体操の方法やスマホを利用するアドバイスなど、
とても勉強になりました。

・小児施設で働いているPTですが、非常に参考になりました。
担当しているお子さんがコロナで休校中、やや機能が落ちてしまったようで、
家庭でのアプローチがより重要に感じていたところです。
家庭、学校、施設でとみんなで取り組んでいければと思いました。

・とても参考になるお話がたくさんあり、参加できてよかったです。
早速実践していきたいと思います。

・リハビリは能動的に行うことが効果的であり、本人の「やる気スイッチ」ON
を援助する事がその人にとって、とても重要であると思いました。

日本財団支援事業

療育研修会

山梨 支部

◆テーマ：おうちでできるリハビリテーション

講師 寄本 恵輔

運動するということ

新型コロナウイルス感染拡大下の中で、子どもの身体活動時間が、対策前には

540分/週であったものが、対策中は105分/週と約1/5までに減少した。

以前より、筋ジストロフィー症のお子さんが春休みや夏休みなど長期休暇中に

運動機能の悪化傾向が強まることが指摘されていた。コロナによる外出自粛は

長期休暇中の状況と同様である。

スマホを利用したり、新たなリハビリテーションの再構築が必要とされている。

リハビリは、本人が何のためにやるのかという大義をきちんと理解し、楽しく

何回もやりたいと思えるようなことを行ない成功体験を積み重ねることが重要。

そのためには、多職種連携によるチームでの支援と継続することがカギとなる。

動画によるリハビリテーションの紹介

NCNP病院のサイトに疾患ごとの対応具体例のページにある動画の紹介もあり

家でできる簡単な運動を参加者みんなで行なってみる